

うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃ)
[宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]
令和2年度の取組結果

1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果

	令和元年度	令和2年度	発生源
CO2 (二酸化炭素)	41,243	37,621	燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチック類の焼却
CH4 (メタン)	473	491	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行、ペレットの燃焼によるもの
N2O (一酸化二窒素)	1,878	1,869	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行、ペレットの燃焼によるもの
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	5	5	カーエアコンの搭載台数によるもの
合計	43,599	39,987	

(t-CO2)

結果	8.3% 削減
----	---------

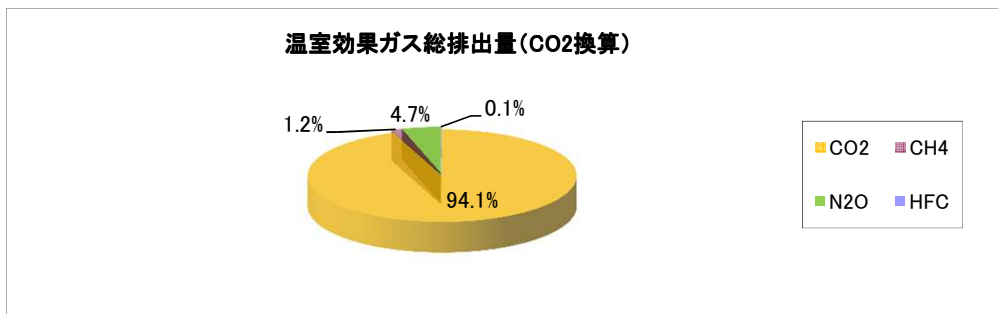
【分析結果】

コロナ禍により、年間を通じて、エネルギー使用量を削減した部署や施設が多く、温室効果ガスの排出量に係る項目として、ガソリン、軽油、重油、灯油、LPガスについては、前年度と比べて使用量が減少した。

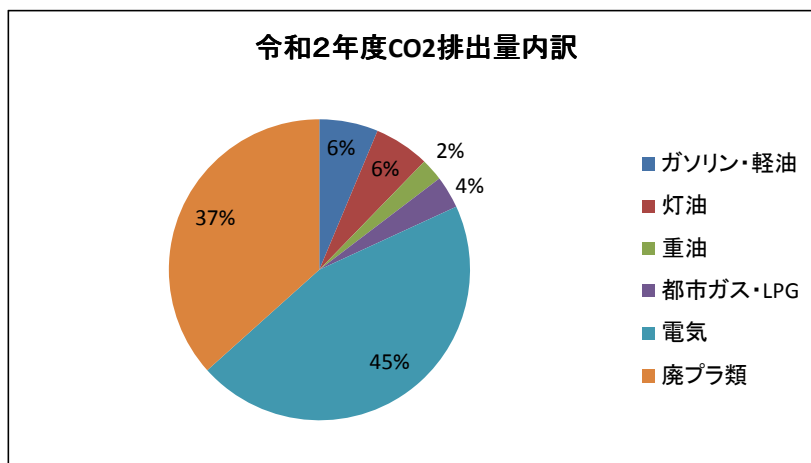
一方、都市ガス、電気の使用量は、小中学校では、空調設備(電気式、ガス式)が稼働したため増加したが、中国電力株の排出係数が低減したため、電気の使用に伴うCO2排出量は減少し、エネルギー起源CO2は、全体として減少した。

また、ごみ焼却場で処理される可燃ごみの処理量及び廃プラスチック含有量が減少したことから、非エネルギー起源CO2も減少し、市全体の温室効果ガスの排出量は減少した。

コロナ禍が収束していくと、その反動としてエネルギー使用量が増加し、温室効果ガス排出量が増加することが懸念されるため、これまで培った省エネ手法と、職員の省エネ意識により排出量を削減できるよう努める必要がある。



本市の事務事業における温室効果ガス排出量の94.1%を占めるCO2の組成を見ると、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却によるものと他人から供給された電気の使用によるものが大きな割合を占めている。CO2排出量削減のためには、各公共施設において、省エネに向けた設備更新や運用対策などの取組の実施が必要不可欠である。



2 温室効果ガス削減のための取組の結果

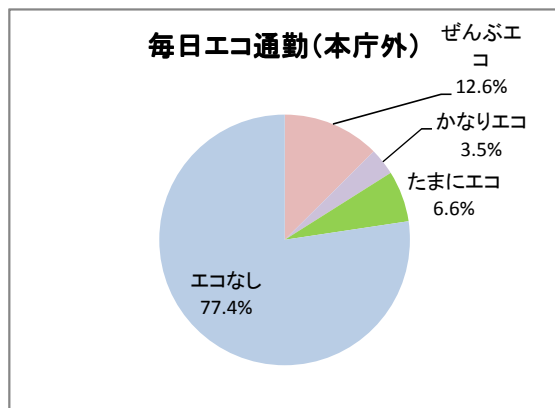
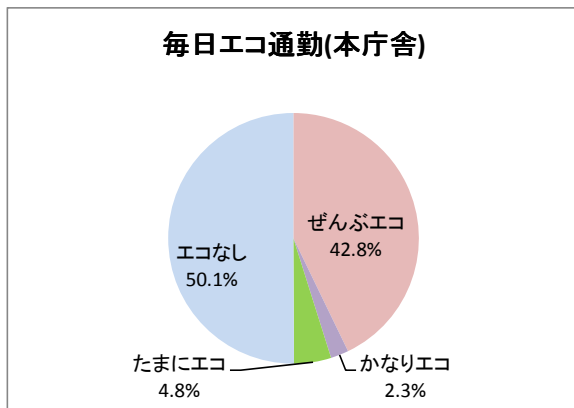
年間を通じて、エネルギー使用量が減少した施設が多く、グリーン購入率を除く10項目のうち7項目で削減となった。

目標番号	項目	分類	R1	R2	削減率	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.9%	99.9%	-	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入が実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	31,492	30,705	2.5%	国勢調査やマイナンバーカードの申請増等があったものの、介護保険認定更新で多かったR1の反動やコロナ禍によるイベント・会議の減少、電子決裁の推進により、全体で2.5%の削減となった。
③	燃やせるごみの総排出量 (t)	オフィス	10.6	10.9	-3.5%	新庁舎移転に向けた文書等の廃棄により、全体で3.5%の増加となった。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	126.3	111.9	11.4%	コロナ禍における利用制限により、施設使用量が18.8%、訪問・イベント減等により、公用車の使用量が10.9%削減され、全体で11.4%の削減となった。
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	902.0	819.5	9.1%	廃棄物対策課におけるごみ収集ルート最適化及び業務委託による収集車使用量減16.7kl、交通局における路線編成による走行距離減少と貸切バス利用減による使用量減71klにより、全体で9.1%の削減となった。
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	349.0	334.7	4.1%	コロナ禍における利用制限により、ときわ湖水ホール、ときわミュージアムの施設使用量が13.7kl削減されたため、全体で4.1%の削減となった。
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	965.1	895.2	7.2%	焼却場に搬入される可燃ごみのごみ質低下に伴う助燃用使用量増加(R1)の反動による減50kl、小中学校へエアコン設置に伴う使用量減17.4klにより、全体で7.2%の削減となった。
⑧	都市ガス使用量 (千m ³)	市全体	272.6	374.7	-37.5%	小中学校の空調(ガス式)設置・稼働に伴う使用量増82.4千m ³ 増により、全体37.5%増加となった。
⑨	LPガス使用量 (千m ³)	市全体	86.3	74.3	13.9%	コロナ禍に伴う給食日数減等による学校給食センター等の使用量減3千m ³ 、営業時間短縮等による楠こもれびの郷の使用量減2千m ³ により、全体で13.9%の削減となった。
⑩	電気使用量 (千kWh)	市全体	29,274.6	30,431.2	-4.0%	コロナ禍に伴う公共施設の利用制限があったものの、小中学校の空調設置・稼働に伴う使用量増932.5千kWhと焼却場のごみ減量に伴う発電量低下による買電量増439千kWhにより、全体で4%の増加となった。
⑪	水道使用量 (千m ³)	市全体	470.4	442.0	6.0%	中山浄水場における洗砂工程での上水の利用増28.8千m ³ があったものの、コロナ禍による利用制限等により多くの施設で使用量が削減されており、特にプールを使用しなかった小中学校で31千m ³ 削減されたため、全体で6%の削減となった。

【エコ通勤基準】

通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	その他①	毎日エコ通勤					
	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤該当	エコ通勤非該当	計	実施率 R2	実施率 R1	取り組み状況
本庁舎	ぜんぶエコ	100%	241	19	260	42.8%	43.4%	エコ通勤該当者は69.9%と前年度比で1.1%増加した。実施率は、エコなしが3.9%増加したため、各エコ実施率が低下している。
	かなりエコ	50%以上100%未満	9	5	14	2.3%	3.0%	
	たまにエコ	50%未満	18	11	29	4.8%	7.4%	
	エコなし	0%	156	148	304	50.1%	46.2%	
	R2計			424	183	607		
	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤該当	エコ通勤非該当	計	実施率 R2	実施率 R1	取組状況
本庁外	ぜんぶエコ	100%	84	17	101	12.6%	12.3%	エコ通勤該当者は45.0%と前年度比で0.4%減少した。実施率は、エコなしが2.1%増加したため、かなりエコ、たまにエコが減少している。
	かなりエコ	50%以上100%未満	18	10	28	3.5%	4.6%	
	たまにエコ	50%未満	29	24	53	6.6%	7.9%	
	エコなし	0%	231	391	622	77.4%	75.3%	
	R2計			362	442	804		



目標番号	項目	その他②	エコ通勤デー			
	区分	通勤者数	実行者数	実施率 R2	実施率 R1	取組状況
	本庁舎	587	271	46.2%	48.2%	本庁舎では、実施率が46.2%と前年度より2.0%減少し、出先職場では、17.1%と前年度より2.0%減少した。コロナ禍により、マイカー通勤者に公共交通機関の利用を促進しにくい状況にある。
	本庁外	736	126	17.1%	19.1%	
	H30計	1,323	397	30.0%	31.8%	

